

2017年6月2日

岸和田城下ぶらり町歩き(案内)

自然と文化科 企画委員会

岸和田というと「だんじり祭り」が有名ですが、江戸時代初めに城下町として栄え、現在も古い城郭や紀州街道沿いのまちなみ、大正、昭和へと紡績などで発展した面影が残ります。今回はお城や寺院などの建造物、自然資料館(和泉葛城山の自然、巨大動物剥製展示)、だんじり博物館などを見学しながらぶらぶら巡ります。

起伏のないまち歩きで岸和田の歴史や自然、ふるき良き時代を再発見ください。

開催日時: 平成29年6月30日(金)10:00～15:00

前日夜17時のNHK天気予報の「大阪」**午前の降水確率60%以上**で中止。

集合場所: 南海線「岸和田」駅中央口 10:00集合

(参考:南海線 9:25難波発関空行き急行 9:51岸和田着)

解散予定は15:00頃岸和田駅

コース概略: オハラ洋装店(朝ドラ:カーネーション舞台)～紀州街道～自然資料館～岸和田城・八陣の庭見学～二の丸広場(昼食)～だんじり博物館～蛸地藏～岸城神社～岸和田駅(解散)・・・当日の状況でコース変更あり

ガイド: 岸和田ボランティアガイド 4名(各班1名)

(4班先頭に3、2、1班の順で行動します)

概略費用: 入場料(岸和田城、だんじり博物館、自然資料館):**個人負担500円**

ボランティアガイド費用と入場料一部(200円)は自然と文化科で負担します。

昼食: 二の丸広場(12:40～ 30分程度)予定

持ち物: 昼食、飲み物、雨具、保険証など必要なもの。

(各自水分補給にはご注意ください)

参加申し込み: 参加希望者は6月16日(金)までに各班企画幹事に申し込みください。

(入場料は科で立替え、各班企画幹事が後日徴収)

以 上

参考資料

1. 岸和田城

築城年ははっきりしないが、戦国時代末期（16世紀半ば）には当時泉州地域を治めた松浦氏の居城となっていた。その後寛永17（1640）年、摂津高槻から岡部宣勝が入城し以降13代にわたり岡部氏が岸和田5万3千石を治めました。大阪の南の守りとして幕府の西国支配に大きな役割を果たした。天守閣は文政10（1827）年、落雷により焼失後、昭和29年3層の天守閣が再健、昭和44年に城壁と櫓が再健された。

（続日本百名城）



2・岸和田城庭園（八陣の庭）

昭和28年に重森三玲によって設計、作庭された。この庭は中国の諸葛孔明の「八陣法」をイメージして設計されており「大将」の石組を中心にその周囲に八つの石組が配置されている。

（国指定名勝）



2. だんじり博物館

岸和田だんじり祭りは江戸時代中期・元禄16年（1703）に始まり、およそ三百年の伝統を誇ります。だんじり会館は、ただ見るだけではなく最新の映像と音響による再現で、祭りそのものが体験でき、また古来の資料と記録が収集されています。



3. 岸城神社

創建は正平17年（1362）、京都の八坂神社より素戔鳴尊（スサノオノミコト）を沼村に勧請したのが始まりである。のち、岸和田城主小出秀正が城内に遷し、この神社を岸和田城の鎮守神とするようになった。現在は契のお宮として、縁結びを求める人々の崇拝を集めている。また岸和田祭りではだんじりが宮入りすることでお名です。



以上